

日本図書館協会 学校図書館部会  
第40回夏季研究集会京都大会のご案内

2011年5月21日

学校長様  
所属長様  
学校図書館関係教職員様

社団法人 日本図書館協会  
理事長 塩見 昇  
日本図書館協会学校図書館部会  
部会長 高橋 恵美子

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、日本図書館協会・学校図書館部会では第40回夏季研究集会(京都大会)を下記のとおり開催いたします。

つきましてはご多用の折とは存じますが、貴職下職員の参加につきまして、特段のご高配を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

記

開催日：2011年8月9日(火)～10日(水)

会場：佛教大学 二条キャンパス (7階 N1-701 教室)  
〒604-8415 京都市中京区西ノ京栞尾町2-7

主催：社団法人 日本図書館協会

後援：京都府教育委員会(申請中) 京都市教育委員会(申請中)  
京都府学校図書館協議会(申請中)

《大会事務局》

京都府立 洛北高等学校 図書館  
〒606-0851 京都府京都市左京区下鴨梅ノ木町59  
電話：075-781-0020 (学校代表)  
FAX：075-781-2520  
大会事務局長 仲 明彦  
e-mail：a-naka92@pref.kyoto.lg.jp

日本図書館協会 学校図書館部会

# 第40回夏季研究集会京都大会開催要項

## 1. 主題 「探究型学習と学校図書館」

## 2. 趣旨

テーマを決める、情報を集める、情報を取捨選択し、まとめる、発表する、ふりかえるといったプロセスのある学び、探究型学習（調べ学習）が今注目を集めています。しかし、小学校や私立の学校で広がっているのに比べ、公立の中学校、高校ではさほどでもないという状況も出ています。探究型学習を実施するためのノウハウも求められています。

子どもたちが学びかたを身につけること、そして生涯学び続ける力を得るために、探究型学習は大きな役割を果たします。探究型学習とは何か、そして学校図書館、学校図書館員が果たす役割は何か、実施するための方法、ともに学び、考えていきましょう。

## 3. 日程

第1日 8月9日（火） 会場：佛教大学二条キャンパス

13:00	13:30	14:30	16:30	17:00	19:00
受付	開部 会報 報告	休憩	講演	移動	交流会

※交流会会場 京野菜ダイニング「TAWAWA」二条店

[http://www.kyo-tawawa.co.jp/restaurant/restaurant-ni\\_jyo/lunch.html](http://www.kyo-tawawa.co.jp/restaurant/restaurant-ni_jyo/lunch.html)

第2日 8月10日（水） 会場：佛教大学二条キャンパス

9:30	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	14:10	16:30
受付	報告	実践報告①	(昼食休憩)	実践報告②	休憩		研究討議

### ※報告集への個人情報の掲載に関して

夏季研究集会終了後に発行される報告集に、個人名、所属、発言などが掲載されることがありますので、ご了承下さい。また、報告集には、参加者の都道府県・氏名・所属を記載した参加者名簿を掲載する予定です。これらにつき、不掲載を希望される場合は、お手数ですが、大会事務局までご連絡下さい。

## 4. 内容

### (1) 「学校図書館をめぐる状況」 部会報告

文部科学省の動向等、部会の取り組み等

### (2) 講演「探究型学習で果たすべき学校図書館の役割～学校図書館で育つ思考力～」

国士舘大学准教授 桑田てるみ 氏

単に調べるだけの学習から子どもたちの学びを豊かにする探究型学習へと時代は動いている。海外や日本の先進的な学校図書館は、探究型学習に必要な「読む」「調べる」「書く」そして「考える」といった「学びのスキル」や、「学びのプロセス」に深くかかわっている。たとえば、グラフィック・オーガナイザーを用いて深く考える仕掛けをすることで探究型学習に寄与することもできる。探究型学習とは何かを明らかにし、スローガンだけではなく具体的な事例を紹介することで、いま学校図書館は何をすべきかについて考える材料を提供する。

(講師紹介)

中学校、高等学校図書館の司書、司書教諭、大学図書館の司書を経験。慶應義塾大学大学院文学研究科図書館・情報学専攻博士課程満期退学。学校図書館が学校の中で確固たる位置づけを得るための研究を継続。著書『思考力の鍛え方』『6ステップで学ぶ中学生高校生のための探究学習スキルワーク』では、探究型学習に果たす学校図書館の教育的役割を提言している。

### (3) 報告「問いをつくるスパイラル 考えることから探究学習をはじめよう！」

日本図書館協会利用教育委員会ワーキンググループ

理論編：神奈川県立田奈高等学校 学校司書 松田ユリ子 氏

実践編：梶山女学園高・中図書館 学校司書 天野由貴 氏

探究学習において問いをつくることは非常に重要であると同時に、生徒にとっても支援する側の教師や学校図書館員にとっても一筋縄ではいかない難しい作業です。この点を意識化するために、利用教育委員会ワーキンググループが開発した、高校生向けの問いをつくるためのツールを紹介しながら、探究学習において問いをつくるのがなぜ重要なのか、そのプロセスをいかに支援すべきなのかについて、理論と実践の両面からお話しします。

### (4) 実践報告①「図書館教育のとりくみと図書館サービス

—5年生の研究授業を中心に—

箕面市立西南小学校 司書教諭 三好葉子 氏

箕面市立西南小学校 元学校司書 高木享子 氏

箕面市立西南小学校では、学習指導要領の改訂にともない2001年度に学校改革をおこなった。2002年、総合的な学習に向けて図書館の環境整備から始まり、2004年から図書館教育が研究テーマの1つになった。5年生の研究授業（2009年度）の取り組みと、授業への支援を含めた日常の図書館サービスを中心に報告する

### (5) 実践報告②「授業の可能性を広げる高校図書館の授業支援

—生徒の自己効力感を高めるためにできること—

埼玉県立新座高等学校 学校司書 宮崎健太郎 氏

学ぶチャンスに恵まれず、学びに自信のない生徒たち。そんな生徒のやる気を引き出そうと勤務校で動き出した授業改善の動き。対話や発信を重視する新たな授業の支援に、司書が動き出しました。授業利用の呼びかけから、資料収集、調査活動の直接的な支援まで。図書館利用を通して授業の可能性を広げ、情報活用の成功体験を通して自己効力感を高めて卒業してもらいたいと願う、日々の実践を報告します。

### (6) 研究討議

## 5. 参加お申込み・参加費のご案内（払込用紙記入の注意）

ゆうちょ銀行発行の「振替払込請求書兼受領証」をもって申込受付とします。「払込取扱票」の通信欄に必要事項をご記入の上、下記口座に払い込んで下さい。「振替払込請求書兼受領証」は大会当日にご持参下さい。「領収書」は大会当日お渡しします。

ゆうちょ銀行振替口座 口座番号： 00920-0-256709

加入者名： 仲 明彦

	全日参加	記号	1日参加	記号
会 員	2,500 円（報告集代・送料含む）	A	2,000 円（報告集代・送料含む）	B
非会員	3,500 円（報告集代・送料含む）	C	3,000 円（報告集代・送料含む）	D
学 生	1,000 円（報告集代含まず）（1日参加も同額です）			E
報告集のみ購入希望（送料含む）	1,000 円			F
8/10 昼食（※会場の学内カフェテリアを利用する場合、この申込が必要です）	1,000 円			G
交流会 参加費	4,500 円			H

※払込取扱票通信欄の該当する記号に○印をつけて、合計金額を振り込んで下さい。

例…日本図書館協会会員で全日参加、8/10 昼食必要、交流会に参加する場合、A と G と H に○印をつけ、8,000 円を振り込む。

※住所は、報告集送付先を兼ねます。自宅か所属かが分かるように記入し、所属の場合はその名称・部署等もご記入下さい（その宛先に報告集をお送りします。）

※連絡のためにメールアドレスをご記入頂ければありがたいです。

**申込締切日…… 2011年7月8日（金）**

申込みと会計上のお問合せは、大会事務局にお願いいたします。

締切を過ぎて申し込まれる場合は、必ず事務局までご連絡ください。

**大会事務局 京都府立洛北高等学校図書館 仲 明彦**

住所 606-0851 京都府京都市左京区下鴨梅ノ木町59

電話 075-781-0020(学校代表) FAX: 075-781-2520

e-mail: a-naka92@pref.kyoto.lg.jp

○宿泊について……今回は宿泊先の斡旋はいたしません。

○食事について……会場の学内食堂(カフェテリア)のご利用には、事前の申込が必要です。付近には飲食店やコンビニエンスストアもございます。お弁当等をご持参の場合、会場の一部で飲食可能です。



【交通】 JR山陰本線（嵯峨野線）二条駅 または 京都市営地下鉄東西線二条駅 下車東口徒歩1分